

科目名称	地域・在宅看護論実習	学年学期	単位数	時間数
		第3学年 前期～後期	2	90
担当教員	宇都宮 千都	授業に関わる 実務経験	☒ 有（保健師） ☐ 無	

【1】授業概要

健康上の課題を持ちながら地域で生活する対象とその家族を総合的に理解し、健康上の課題を解決するための基礎的知識・技術・態度を習得する。

【2】学習目標

1. 地域で生活する療養者とその家族を理解できる。
2. 療養者と家族の問題点を把握し、その人らしさ・その家庭らしさを大切にした看護過程を理解できる。
3. 訪問看護の特徴と方法を理解し、その人らしさ・その家庭らしさを尊重した援助ができる。
4. 保健・医療・福祉の連携および看護の継続性が理解できる。
5. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1 ～ 3 週 目	1. 地域で生活する療養者とその家族を理解できる。 2. その人らしさ・その家庭らしさを大切にした看護過程を理解できる。 3. 療養者や家族とコミュニケーションをとり、療養者の意思に沿った看護援助について考えることができる。 4. 看護の継続性について説明できる。 5. 療養生活を支える他機関、他職種との連携について理解できる。 6. 在宅ケアチーム内での訪問看護師の役割を考えることができる。 7. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。	臨地実習

【5】評価方法

地域・在宅看護論実習評価基準に基づいて、実習目標の達成度、提出物、実習態度、出席率により総合的に行う。

【6】教科書

なし

【7】参考書

実習要綱、授業で配布した資料

押川眞喜子監 写真でわかる訪問看護 改訂第2版 インターメディカ 2023年

【8】受講生へのメッセージ

地域に出て、在宅で療養しながら生活している対象とその家族に対する看護を学ぶ実習です。実習要綱、授業で配布した資料で事前学習・事後学習を必ず行って実習に臨んでください。